

金沢大学「3つのポリシーテンプレート」

【策定単位】自然科学研究科 電子情報通信学専攻 ※DP・CP策定の最小単位ごとに別葉で作成、かつ、授与する学位が複数存在する場合には授与する学位ごとに別葉で作成ください。

【授与する学位】博士（工学） ※カッコ内に専門分野を明記してください。

| | |
|---|--|
| 大学（大学院）の目的 ※学則、大学院学則から引用 | 学類（研究科）の教育研究上の目的 ※学類規則、研究科規則から引用 |
| 金沢大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。 | 博士後期課程においては、科学技術分野における学術研究が専門化及び先端化する中で、「学際性」、「総合性」及び「独創性」に富んだ高度な研究者・技術者を養成することを目的とする。 |

| ディプロマ・ポリシー（DP） | カリキュラム・ポリシー（CP） | アドミッション・ポリシー（AP） |
|---|--|---|
| 【卒業認定・学位授与に関する基本的考え方（前文）】 | 【教育課程編成に関する基本的考え方】 | 【入学者受入れに関する基本的考え方（前文）】 |
| 自然科学研究科電子情報通信学専攻は、グローバルな高度情報化が急速に進む社会において、電気・電子・情報・通信技術の各分野における専門知識を基礎とし、技術進歩に対応できる能力、独創性に富んだ科学技術を創造できる能力、および多様化する社会に主体性を持って柔軟に対応する能力を身につけた人材を養成する。そうした人材を養成するために、講義の履修を通して所定の課程を修め、かつ研究指導を受けた上で、工学分野として適切に認められる博士論文の審査及び試験に合格し、次のような目標を達成した者に、博士（工学）の学位を授与する。 | 自然科学研究科電子情報通信学専攻では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、大学院GS発展科目群、専門科目群、専攻共通科目群を体系的に編成し、講義、演習、実験、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。教育課程については、その体系性や構造を明示する。 | 自然科学研究科電子情報通信学専攻は、電気電子工学、情報通信工学の各学問分野およびこれらを含む学際領域の専門分野に関連した科学技術の多様な展開に適応し、世界をリードする豊かな創造性と高い研究開発能力を身につけた技術者や研究者を育成することを目的とする。この目的を達成するために、次のような人を求める。 |
| 【学生が身に付けるべき資質・能力】 （※「学生が何ができるようになるか」を分かりやすく具体的に記載（シラバスの学修目標のような記載の仕方に心掛ける）） | 【教育内容・教育方法（教育課程実施）に関する基本的考え方】 | 【求める人材】 |
| <ul style="list-style-type: none"> （1）電気電子工学、情報通信工学における最先端の専門知識と広範な見識。 （2）電気電子工学、情報通信工学における高い創造性と問題発見能力、研究開発能力。 （3）大学、研究機関、企業等において研究開発をリードし統率する能力。 （4）確たる研究者倫理観を有しつつ、人間生活、社会・自然環境に融和した研究開発ができる能力。 （5）国際的に活躍できるプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力。 | <ul style="list-style-type: none"> 1. 授業科目の構成 研究科共通の「大学院GS発展科目」、専攻独自の「専門科目」を設置する。さらに、個別の研究課題を推進する科目として「専攻共通科目」を設置する。 2. 教育内容 ●大学院GS発展科目（必修4単位）：未来社会の課題を認識し、研究者としての倫理観、国際性を身に付けさせるために4科目を配置し、それら全てを必修指定する。 ●専門科目（選択専攻共通科目と合わせて6単位以上）：電気電子工学、情報通信工学における最先端の専門知識と広範な見識を身につけるため、専攻共通科目の選択科目と合わせて6単位以上を選択する。 ●専攻共通科目（必修2単位、選択専門科目と合わせて6単位以上）：自然科学特別研究、自然科学特別演習では、指導教員による研究指導のもとで、電気電子工学、情報通信工学に関する研究課題に取り組む。自らが主体的に研究テーマの設定、研究計画の立案と遂行、研究成果の発信を行うことにより、論理的な思考力、問題を把握し解決する能力、独創性のある科学技術を創造する能力を養う。また、ジョブ型インターンシップでは、企業においてチームによる研究開発を体験し、イノベーション人材としての視点を確立する。 3. 教育方法 ●知識付与型の科目履修にあたっては、学生は教員によって提示される専門知識を問う試験の結果をもって評価を得る。 ●課題解決型の科目履修にあたっては、教員と学生間または学生間のディスカッションを通じた解決案の有意性をもって評価を得る。 ●自然科学特別研究、自然科学特別演習の履修にあたっては、主任指導教員1名以上の専攻指導教員（自然科学系専攻教員）による指導を受ける。 | <ul style="list-style-type: none"> （1）電気電子工学、情報通信工学をより深く学習、研究する意欲を持ち、最新の専門知識を学ぶために必要な基礎学力を有する人 （2）持続的発展可能で高度に情報化された未来社会の創造に貢献し、我が国はもとより世界のリーダーを目指す人 （3）次世代の高度な科学技術を確固たる倫理観と責任感を持って主体的に発展させ、次代を担う気概と意志を持つ人 （4）広範な知識とコミュニケーション力をもとに異分野と連携しながら地域社会や国際社会における諸問題に対して主体的に解決していく意欲を持つ人 |
| 【学修成果の評価】 | 【学修成果の評価】 | 【選抜の基本方針】 |
| <ul style="list-style-type: none"> （1）授業科目に対して成績評価の基準及び方法を明示し、それに基づいて、学修成果を評価する。 （2）論文に対して審査基準と審査方法を明示し、それに基づき研究成果の審査及び試験を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> （1）授業科目に対して成績評価の基準及び方法を明示し、それに基づいて、学修成果を評価する。 （2）論文に対して審査基準と審査方法を明示し、それに基づき研究成果の審査及び試験を行う。 | <p>これまで行ってきた研究内容と成果、及び入学後の希望研究計画に関する口述試験により、専門知識と研究能力、研究者としての素養を総合的に判断する。</p> |
| | | 【入学までに身に付けて欲しい教科・科目等】 |
| | | 電気工学、電子工学、情報工学、通信工学、またはこれらの分野を含む学際領域の何れかの分野における基礎的な専門知識と研究・開発経験を必要とする。 |